日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939番
(公) 043（222）7207番

97.10.16 No.4676

動労千葉 呼びかけ

11・9へ全力で

五千名の結集を

動労千葉は、十一月九日、日比谷野外音楽堂に全国の仲間たちの総結集を呼びかけている。

今年で三回目となる新しい潮流の全国総決起集会。何としても五千名の仲間たちを結集し、労働運動をたて直す大きな一歩を踏みだそう！

十一・九集会は、何よりも「戦争マニュアル」と呼ばれる新ガイドラインと有事立法―戦争への道を阻止するために、われわれが本格的に闘いを開始するその宣言の場だ。

また**十一・九集会は**、一〇四七名の解雇撤回闘争を先頭とした正念場の国鉄闘争勝利への一大総決起大会として開催される。

十一・九集会は、さらに第二五回定期大会で宣言した、新しい世代の動労千葉を創りあげるその第一歩を踏みだす闘いだ。

全支部から全力結集を！

- **創りだそう！第三次安保・沖縄闘争を！**
- **甦れ労働組合！とり戻そう団結！大失業と戦争の時代と対決する労働運動の新しい潮流を創ろう**
- **日米新安保ガイドラインと有事立法に反対する百万人署名運動を成功させよう！**

←連合大会で提案された新政治方針、恐るべきものだ

●「安全保障問題」について

日本にとって世界に展開した投資からの収益が益々重要であり、そのためには安全保障を確かなものにする必要がある。今日的条件のもとでは、日本はアメリカとの強固な同盟関係によってその抑止力を持つ事が最も合理的な選択であり、日本は米国に対し全面的な協力を保障し、必要な法制上やシステム上の条件は充分に整備しなければならない。日米安保が強固である事は、日本の近隣諸国にとっては脅威ではなく、むしろ安心材料であり安定要因だ。政府は小さければいいわけでなく、安全保障など積極的にはたすべき役割を強化することも必要だ。

●行革問題について

高度成長時代の社会保障制度や社会の仕組みは根底から再設計しなくてはならない。産業構造の転換にともない、雇用のミスマッチは避けられず雇用調整は難問だが、これをすべて社会保障の対象とすれば財政は破綻する。年金財政の破綻を解決するためには、給付水準の見直しも必要だ。最もすっきりするのは、公的年金を基礎年金だけにして、それを超える部分はすべて私的保険にまかせることだ。中央・地方を問わず、政府の改革は職員に大きな影響を与えるが、国家公務員から地方公務員や民間に所属が変わっても、仕事は続くわけだから、雇用が失われたわけではない。内閣の機能に国家戦略会議ぐらいの形成機能をもたせて、首相の権限も、単に危機管理ばかりではなくリーダーシップを発揮できるような形に変革する必要がある」

労働者は怒りを忘れたのか？

日本は、新ガイドラインの合意をもって、戦争のできる国家として世界に登場することを宣言した。来年の国会には有事立法が上程されようとしている。またその一方では、橋本行革のもとで、労働法制の抜本的な改悪をはじめ、労働者の権利と団結を奪い尽くし、独裁的な国家機構をつくりあげようとする本格的に攻撃が始まっている。

しかし、これだけのことが起きていながら労働者の闘いは未だまき起こっていない。一体何故なのか。労働者は怒りを忘れてしまったのか？　時代への危機感を感じていないのか？　反戦意識を失ってしまったのか？　橋本政権が進める大失業と戦争への道を支持しているのか？

そうではないはずだ。現実に、不安や焦り、危機感、怒りは急速に広がっている。にもかかわらず、広汎な労働者の闘いが未だまきおこっていないのは、怒りや闘いの爆発を抑え込んてしまうような社会の仕組みが造られているからだ。それは一体何なのか。この点がはっきりすれば、闘いの方向性も鮮明になるはずだ。

何故、新しい潮流運動か？

結局、その社会の仕組みの根幹にあるのが、労働組合のナショナルセンターが解体・再編され、連合になったという問題だ。「連合」ができたということは、単純に労働組合がダメになったというだけのことではない。連合は、社会的な不正義や戦争政策に対する怒りが闘いとなって噴きだす可能性や水路を封ずる最大の仕掛けとしてつくられたのである。

だから、連合支配を揺るがし、食い破ったとき、闘いは間違いなく大きく高揚する。問題の一切の核心はここにあると見なければならない。だからこそ動労千葉は、全国にはばたこう運動、新しい潮流運動を全国に呼びかけているのである。

連合の転落！

しかも連合は今、まさに産業報国会の道に転落しようとしている。十月二～三日の連合大会では、「二一世紀への日本の選択」と題した新政治方針が提案されたが、その内容は別掲のとおり恐るべきものだ。「日本は世界（アジア）からの搾取・収奪によってなりたっているのだからそれが脅かされたときは軍事力で対抗する、そのためには日米安保同盟を強化し、必要な法律やシステムを整備する、社会保障や年金、医療制度などをこのままにしておいたら国が滅びる」と言うのだ。労働組合がこう主張し始めたのである。

しかし、その一方で連合は、労働者の支持や求心力を完全に失いガタガタだ。労働運動の新しい潮流を創りあげるために、**十一・九集会にに、勤務以外総結集を実現しよう。！**

新たな10万人合理化粉砕!!　労働運動の新たな潮流めざし全国へはばたこう!!